



★★ アジア鉱物資源開発地域會議

東京において開催★★

日本政府招請、國際連合アジア極東經濟委員會 (ECAFE—戦争による荒廢地域の經濟復興を目的として作られた組織) 主催の下に、アメリカ・ソ連・インド・フィリピン等極東23カ國代表120名が東京に集り、4月20日より10日間の予定で、極東諸國の鉱物資源についての各種問題につき討論することになった。

即ち會議は、第1部、アジア極東における鉱物資

源の狀況及び經濟開発に及ぼす影響。第2部、鉱物資源の地質調査。第3部、鉱物資源開發分野における國家的、國際的活動。以上の3部会にわかれそれぞれ専門的立場より詳細なる検討が行われる。

なお會議終了後の4月30日より地質調査所、資源技術試験所、別子鉱山(愛媛)、棚原鉱山(岡山)、宇部(山口)、三池(福岡)炭田、その他の見学並びに視察旅行が行われる予定である。

用語説明

新鉱床探査

露頭があるとか、近くに鉱山があるとかの色々な地質的資料に基いて、新しい鉱床の存在が予測され得る場合に行う探査。この調査は地質調査の外に物理探鉱、ボーリングによる探鉱法を併用する場合がある。

開發技術指導

中小企業の鉱山において、特に適当な技術者がいない場合とか、又は特殊な問題が起つた場合、開發に必要な技術的指導を行う。

研究調査

地質的にみて、資源の開發ならびに利用の面において、有用と思われる問題を選定し、これを科学的に追求して将来にそなえるために行う調査。

編集メモ

- ☆ 発行は当分の間、隔月とし調査所の動きや調査についてのニュースに重点を置く考えです。
- ☆ 読者層は所謂地質の専門家とともに広く一般の方々にも求め、お仕事の暇に播いて頂けるように編集しました。
- ☆ 此のニュースの記事を抜萃轉載される場合は轉載した刊行物を2部送附して下さい。
- ☆ 附録として地質調査所窓口案内図を採録しました。
- ☆ 此のニュースについての御希望や御質問は下記へどうぞ。

東京都新宿区河田町8

地質調査所東京分室

企画課広報係宛

お 願 い

地質ニュースを御希望の方は、一カ年6回発行しますので8円切手封入希望部数明記の上、本所企画課または最寄の支所・駐在員事務所へ御申込み下さい。